

2025 年度 データサイエンスへの誘い A  
アンケートの集計結果

和歌山大学

データ・インテリジェンス教育研究センター

- ・実施対象科目：
  - ・ データサイエンスへの誘い A (第 1 クォーター・第 3 クォーター科目)
- ・実施期間：
  - 第 1 クォーター：2025 年 6 月 4 日 - 2025 年 8 月 31 日
  - 第 3 クォーター：2025 年 11 月 26 日 - 2026 年 2 月 28 日
- ・実施対象者：和歌山大学学部 1 年生全員を主とする受講生
  - ・ 第 1 クォーター受講者 (計：918 名)
    - 教育学部：141 名
    - 経済学部：306 名
    - システム工学部：316 名
    - 観光学部：121 名
    - 社会インフォマティクス学環：34 名
  - ・ 第 3 クォーター受講者 (計：171 名)
    - 教育学部：23 名
    - 経済学部：92 名
    - システム工学部：30 名
    - 観光学部：13 名
    - 社会インフォマティクス学環：3 名
    - 科目等履修生：10 名
- ・アンケートの実施方法：「教育サポートシステム」を用いたアンケート

## ○「データサイエンスへの誘いA」アンケート結果

1 : この授業を受ける前に何を参考にしましたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	シラバスだけでなく他の資料や情報も入手して参考にした	44	13%
2	シラバスを熟読し、参考にした	84	24%
3	シラバスに軽く目を通し、参考にした	178	52%
4	シラバス以外の資料や情報のみを参考にした	7	2%
5	参考にした資料や情報は全くなかった	30	9%
	合計	343	100%

コメント：過半数の学生が、「シラバスに軽く目を通し、参考にした」を回答していることが分かったが、全く見ていない学生も11%存在している。この講義は、必修科目/必履修科目のため、シラバスを確認する必要性を感じていない学生も一定数いることが分かった。これらの傾向は、昨年度の授業評価アンケートと同様である。シラバスにPCの準備や成績評価方法、レポート提出方法などの説明を記載しているが、シラバスに書かれていたとしても、初回の講義の中で重要な項目については、周知した方が良いと思われる。

2 : 授業の目的は明確でしたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	181	53%
2	ややそう思う	125	36%
3	どちらとも言えない	20	6%
4	あまりそう思わない	12	3%
5	全くそう思わない	5	1%
	合計	343	100%

コメント：89%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。授業の目的については、多くの学生が理解していることが分かった。この傾向は、2020年度から変わっていない。

3 : 成績評価の観点・方法などがきちんと説明されていましたが 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	183	53%
2	ややそう思う	122	36%
3	どちらとも言えない	25	7%
4	あまりそう思わない	8	2%
5	全くそう思わない	5	1%
合計		343	100%

コメント： 89%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。成績評価の観点・方法については、多くの学生が理解していることが分かった。この質問項目は、2022年度からの項目である。なお、傾向は2022年度から変わっていない。

4： 授業者はよく聞き取れる話し方でしたか 【選択式： 5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	187	55%
2	ややそう思う	111	32%
3	どちらとも言えない	23	7%
4	あまりそう思わない	16	5%
5	全くそう思わない	6	2%
合計		343	100%

コメント： 87%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、基本的にはオンデマンド型講義で実施しており、問題のないことが分かった。この質問項目は、2022年度からの項目である。なお、傾向は2022年度から変わっていない。

5： 教員は学習の理解度を把握しながら進めていましたか 【選択式： 5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	121	35%
2	ややそう思う	123	36%
3	どちらとも言えない	60	17%
4	あまりそう思わない	28	8%
5	全くそう思わない	11	3%
合計		343	100%

コメント： 71%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、基本的にはオンデマンド型講義で実施しており、学生との質問などは、moodle、電子メール、LINE チャットボット経由、オンラインサポート室で実施している。また、第8回目は同時双方向型で実施している。今後、学生の理解度の把握の方法についても検討する。この質問項目は、2022年度からの項目である。なお、傾向は2022年から変わっていない。

6： 授業で使用される教材（テキスト、資料等）や設備・機器は適切に使用されていましたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	183	53%
2	ややそう思う	106	31%
3	どちらとも言えない	40	12%
4	あまりそう思わない	11	3%
5	全くそう思わない	3	1%
合計		343	100%

コメント： この講義の授業資料は、パワーポイント資料に動画と音声による説明を追加し、動画形式に変換した後に配信をしている。また、講義資料はPDFとして配布している。84%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答しており、学生は効果的な使い方の授業資料であると認識していることが確認できた。

7： 授業の提示方法（板書、ビデオ等）は適切でしたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	197	57%
2	ややそう思う	107	31%
3	どちらとも言えない	28	8%
4	あまりそう思わない	6	2%
5	全くそう思わない	5	1%
合計		343	100%

コメント： この講義の授業資料は、パワーポイント資料に動画と音声による説明を追加し、動画形式に変換した後に配信をしている。また、Excelの演習は教員が操作している様子を録画し、動画形式で配信している。89%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。動画配信サーバの視聴ログからは、多くの学生はExcelの演習動画をなんども繰り返し視聴しながら、演習を実行していることが確認できており、この講義形式により教育効果が得られていると考えている。

8： 学生参加の機会は十分にありましたか 【選択式： 5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	146	43%
2	ややそう思う	115	34%
3	どちらとも言えない	42	12%
4	あまりそう思わない	31	9%
5	全くそう思わない	9	3%
合計		343	100%

コメント： 76%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義はオンデマンド型講義を中心として構成されているが、第8回の同時双方向型のフォローアップ講義を実施しており、多くの学生、「学生参加」の機会があると感じたと考えられる。

9： ICTの利活用を進めるような授業構成でしたか 【選択式： 5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	241	70%
2	ややそう思う	67	20%
3	どちらとも言えない	28	8%
4	あまりそう思わない	3	1%
5	全くそう思わない	4	1%
合計		343	100%

コメント： 90%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、オンデマンド型講義であり、また、Excelの演習を中心とした講義のため、多くの学生が、ICTの利活用を進めていると感じたと考えられる。

10： 学生の質問に対する教員の回答は明快でしたか 【選択式： 5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	167	49%
2	ややそう思う	111	32%
3	どちらとも言えない	42	12%
4	あまりそう思わない	17	5%
5	全くそう思わない	6	2%
合計		343	100%

コメント： 81%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、Moodle上のフォーラム、電子メール、同時双方向型のサポート室、LINEチャットボット経由による質問など、多くの質問ための方法があり、多くの学生が、「学生の質問に対する教員の回答は明快」と感じたと考えられる。

11： この授業に関する通常授業期間の学修時間はどれくらいですか（授業時間を除く、1週間あたりの平均） 【選択式： 4者択1】

	回答	人数	割合
1	4.5時間以上	42	12%
2	3時間～4.5時間	82	24%
3	1.5時間～3時間	117	34%
4	1.5時間以下	102	30%
合計		343	100%

コメント： 学修時間 1.5 時間以上の割合は、70%であった。 大半の学生が1週間あたり 1.5 時間以上の学修を行っていることがわかった。 また、3 時間以上学修したと回答した学生は 36%であった。 一定程度の学修量の確保が行えていると考えていると考えている。 これは、動画視聴の周知の徹底の効果であると考えている。

12： この授業はシラバスの内容に則した授業でありましたか。 【選択式： 5 者択 1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	167	49%
2	ややそう思う	133	39%
3	どちらとも言えない	38	11%
4	あまりそう思わない	3	1%
5	全くそう思わない	2	1%
合計		343	100%

コメント： 87%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。 この講義は、シラバスに則して実施しており、多くの学生はシラバスに則っていると考えていることが分かった。 このアンケート項目は 2023 年度から追加されたものである。 なお、傾向は 2023 年度から変わっていない。

13： この授業の満足度を評価してください 【選択式： 5 者択 1】

	回答	人数	割合
1	90%以上	144	42%
2	80%	96	28%
3	70%	62	18%
4	60%	28	8%
5	50%以下	13	4%
合計		343	100%

コメント： 70%以上満足したと回答は、全体の 88%であった。 ほとんどの学生がこの講義に満足していることが分かった。

14 : 授業についてよかった点があれば記述してください。 【記述式： 300 以内】

この授業の良かった点として記述された回答は 26 件（特になし等を除く）あった。全ての回答をそのまま示す。

- Excel の新しい使い方を学べた所
- Excel や Word の機能を丁寧に説明してくれていて課題をすることができたので良かった。
- Excel を使った演習があったことで Excel の利活用について特に理解できた点。
- エクセルを使った演習などは今後使う機会が多い物であり、非常に為になったと感じてる。
- オンデマンド形式で何度も見返すことができる場所。
- データを用いて実践することで、少しずつデータやパソコン操作に慣れることができたので、社会に出たときにも活躍するスキルが身についた点。
- テーマごとに分割されて授業が配信されていたので非常に受講しやすかった。また、話し方も抑揚があって聞き取りやすく、集中して受講できたと思う。
- パソコンの使い方を学習することができたので良かったです。
- パソコンを使い慣れるようになったので良かったです。
- 演習をビデオで出してくださるので、分かりやすかったです。
- 何度も講義を見返して復習できたこと。
- 課題について、教員が一から一緒にしてくださったので困ることがなく、非常にわかりやすかったです。
- 課題の説明がわかりやすく、すぐにエクセルになれることができた。
- 課題は多い時や複雑な時があるが実力が付く点
- 今までの自分たちになじみのないことで、かつこれからの社会で役に立つことを知ることができた点。また、レポートをたくさん書くので大学生活への慣れが早くなった点。
- 自分の知らない知識を取り入れることができるいい機会だった。課題を進めるための動画が分かりやすかった。普段考えることのない問いや技術に触れるため新鮮で面白かった。
- 授業が聞き取りやすく、内容も興味深い点。
- 授業中にクイズ形式の問題を出して考えさせて、小テストで答えさせるやり方がとても良かった点。これのおかげで授業の内容が凄いい身についた。
- 授業内容が課題と連動していたため、課題をやることで授業内容の理解が深められた点。
- 少しだけ、パソコンでのデータを扱っていくことに慣れた点
- 声が聞き取りやすかった。Excel の操作が全く分からないところからスタートしたが、ついていける速さだったので非常にありがたかった。
- 他授業にも生かせる技術を学べました。
- 知識を深めることができた。
- 独学だけでは学びきれないような Word や Excel の知識を学ぶことができとても良かったです。最初はうまくいかなかったけど、すべての講義を通して演習を重ねることでパソコンの

スキルが上がってきて課題を早くこなせるようになったので良かったです。

- 分かりやすい説明のおかげで、データに関する知識を身に着けることができた。日常生活でも知識が身につけていることが実感できる。
- 話すスピードや内容がわかりやすいと感じました。

15 : 授業について改善してほしい点があれば記述してください。 【 記述式 : 300 以内 】

この授業の改善してほしい点として記述された回答は 18 件（特になし等を除く）あった。全ての回答をそのまま示す。

- レポートの評価を返してほしいと思います。自分のレポートが求められている物に合致しているのかわからず不安に感じます。
- 映像が古い。最終回の授業で進行方法の説明が分かりにくい
- 課題が大変な時があった。
- 課題によって非常に時間がかかるものがあった。説明が理解しづらいことがあった。
- 課題の作業の説明の際、編集でカットを入れることで説明がわかづらくなっている箇所がある。
- 課題の量を減らしてほしい。
- 機械音痴なので、説明を飛ばさずに 1 から説明してくださると助かります。
- 講義時間が 90 分を超えることが結構あった。
- 最後の on time での授業は確かに事前に報告はありましたが、全員が一斉にインターネットに接続し、使い始めるので、ネットが繋がらなく、なかなか入れない学生がいることを考慮していたのかはわかりませんが、遅刻、欠席扱いが不適切なものだと思いました。
- 最終の双方向配信での参加に関して、不必要不適切なチャットでの発言を行った学生に対しての何らかの減点があればよいです。いくら課題をこなせていたとしても、社会性に欠けるのではと感じた。
- 授業が急に難易度が上がったので、もう少し順々にレベルを上げてほしかったです。
- 授業で用いているスライドと最後の章テストの内容があまりに異なることがあったので、もう少し授業内容に沿うようにテストを作成してもらいたい。
- 授業時間が 90 分を超えていることが多い点。また、6 限の授業をリアルタイムで受けるのは厳しく、授業や課題が溜まってしまう点。
- 授業中のクイズの答えについて、記号まで言う必要はありませんが、もう少し分かりやすくしてほしいです。
- 授業動画の更新をせめて 3 年ごとにしてほしいです
- 説明に使用している動画が古いので現在と違いわかりにくい
- 動画の取り直しをしてほしい。

- 動画の途中で出てくるクイズの答えが明確にされないことが時々あった点。

## ○ まとめ

授業実施形態ならびに教材の提示方法について、受講者から概ね好意的な意見が得られた。また授業の難易度に関しては、授業時間以外の学修時間をみても適切な時間に収まっており、適度であると考えられる。授業全体の満足度をみても約9割の回答者が70%以上と答えており、おおむね満足が得られる結果となった。

- 課題量の調整について
  - 課題量については多いと感じている学生もいるが、課題の解決に費やしている時間をみると、予習や復習に必要と考えられる時間内に収まっている。アンケートの記述をみる限り、特に問題ない学生も多いと考えられるため、今後も同程度の課題量としたい。
- 難易度調整について
  - 難易度が高いと考えている学生もいるが、アンケート結果をみると、ほとんどの内容について、動画教材の中で丁寧に説明ができていると考えられる。
- オンライン対応の充実について
  - この授業で提供しているさまざまなオンラインサポート（Moodle上の電子フォーラム、電子メール、オンラインサポート室、LINEチャットボット）について、学生からの高い評価を確認できている。ただし、サポートを活用できている利用者は必ずしも多いとは言えないが、ほとんどの学生は、動画内での説明で十分に理解できており、質問の必要がない可能性も高い。
  - 第8回は同時双方向で実施し、課題の総まとめを行っている。一部の学生は、Teamsの設定などに不備があり、アクセスが上手くいかない状況であることがわかった。令和8年度は、新入生の、特に、4月時にPCのサポートを充実させることを予定している。
  - 映像が古いとの指摘については、令和7年度後期に課題の動画の大部分を作り直している。これまでも講義動画も必要に応じて作り直している。今後も状況に応じて作り直すことを計画している。

2025 年度 データサイエンスへの誘い B  
アンケートの集計結果

和歌山大学

データ・インテリジェンス教育研究センター

- ・実施対象科目：
  - ・ データサイエンスへの誘い B (第 2 クォーター・第 4 クォーター科目)
- ・実施期間：
  - 第 2 クォーター：2025 年 6 月 4 日 - 2025 年 8 月 31 日
  - 第 4 クォーター：2025 年 11 月 26 日 - 2026 年 2 月 28 日
- ・実施対象者：和歌山大学学部 1 年生全員を主とする受講生
  - ・ 第 2 クォーター受講者 (計：919 名)
    - 教育学部：141 名
    - 経済学部：307 名
    - システム工学部：316 名
    - 観光学部：121 名
    - 社会インフォマティクス学環：34 名
  - ・ 第 4 クォーター受講者 (計：191 名)
    - 教育学部：30 名
    - 経済学部：103 名
    - システム工学部：34 名
    - 観光学部：18 名
    - 社会インフォマティクス学環：5 名
    - 科目等履修生：1 名
- ・アンケートの実施方法：「教育サポートシステム」を用いたアンケート

## ○「データサイエンスへの誘い B」アンケート結果

1 : この授業を受ける前に何を参考にしましたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	シラバスだけでなく他の資料や情報も入手して参考にした	49	16%
2	シラバスを熟読し、参考にした	81	26%
3	シラバスに軽く目を通し、参考にした	148	48%
4	シラバス以外の資料や情報のみを参考にした	5	2%
5	参考にした資料や情報は全くなかった	27	9%
合計		310	100%

コメント：約90%の学生が、「シラバスだけでなく他の資料や情報も入手して参考にした」「シラバスを熟読し、参考にした」「シラバスに軽く目を通し、参考にした」を回答していることが分かったが、全く見ていない学生も10%存在している。この講義は、必修科目のため、シラバスを確認する必要性を感じていない学生も一部いることが分かった。これらの傾向は、昨年度の授業評価アンケートと同様である。なお、シラバスにPCの準備や成績評価方法、レポート提出方法などの説明を記載しているが、初回の講義の中で重要な項目については、周知をおこなっている。

2 : 授業の目的は明確でしたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	166	54%
2	ややそう思う	106	34%
3	どちらとも言えない	25	8%
4	あまりそう思わない	7	2%
5	全くそう思わない	6	2%
合計		310	100%

コメント：88%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。授業の目的については、多くの学生が理解していることが分かった。この傾向は、2020年度から変わっていない。

3 : 成績評価の観点・方法などがきちんと説明されていましたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	165	53%
2	ややそう思う	108	35%
3	どちらとも言えない	27	9%
4	あまりそう思わない	7	2%
5	全くそう思わない	3	1%
	合計	310	100%

コメント：88%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。成績評価の観点・方法については、多くの学生が理解していることが分かった。この質問項目は、2022年度からの項目である。なお、傾向は2022年度から変わっていない。

4 : 授業者はよく聞き取れる話し方でしたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	164	53%
2	ややそう思う	107	35%
3	どちらとも言えない	27	9%
4	あまりそう思わない	11	4%
5	全くそう思わない	1	0%
	合計	310	100%

コメント：87%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、基本的にはオンデマンド型講義で実施しており、問題のないことが分かった。この質問項目は、2022年度からの項目である。なお、傾向は2022年度から変わっていない。

5 : 教員は学習の理解度を把握しながら進めていましたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	119	38%
2	ややそう思う	97	31%
3	どちらとも言えない	58	19%
4	あまりそう思わない	25	8%
5	全くそう思わない	11	4%
合計		310	100%

コメント：70%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、基本的にはオンデマンド型講義で実施しており、学生との質問などは、moodle、電子メール、LINE チャットボット経由、オンラインサポート室で実施している。また、第8回目は同時双方向型で実施している。今後、学生の理解度の把握の方法についても検討する。この質問項目は、2022年度からの項目である。なお、傾向は2022年度から変わっていない。

6：授業で使用される教材（テキスト、資料等）や設備・機器は適切に使用されていましたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	163	53%
2	ややそう思う	101	33%
3	どちらとも言えない	37	12%
4	あまりそう思わない	4	1%
5	全くそう思わない	5	2%
合計		310	100%

コメント：この講義の授業資料は、パワーポイント資料に動画と音声による説明を追加し、動画形式に変換した後に配信をしている。また、講義資料はPDFとして配布している。85%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答しており、学生は効果的な使い方の授業資料であると認識していることが確認できた。

7：授業の提示方法（板書、ビデオ等）は適切でしたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	175	56%
2	ややそう思う	95	31%
3	どちらとも言えない	31	10%
4	あまりそう思わない	8	3%
5	全くそう思わない	1	0%
合計		310	100%

コメント： この講義の授業資料は、パワーポイント資料に動画と音声による説明を追加し、動画形式に変換した後に配信をしている。また、Excelの演習は教員が操作している様子を録画し、動画形式で配信している。87%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。動画配信サーバの視聴ログからは、多くの学生はExcelの演習動画をなんども繰り返し視聴しながら、演習を実行していることが確認できており、この講義形式により教育効果が得られていると考えている。

8： 学生参加の機会は十分にありましたか 【選択式： 5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	138	45%
2	ややそう思う	107	35%
3	どちらとも言えない	43	14%
4	あまりそう思わない	15	5%
5	全くそう思わない	7	2%
合計		310	100%

コメント： 79%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義はオンデマンド型講義を中心として構成されているが、第8回の同時双方向型のフォローアップ講義を実施しており、多くの学生、「学生参加」の機会があると感じたと考えられる。

9： ICTの利活用を進めるような授業構成でしたか 【選択式： 5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	210	68%
2	ややそう思う	64	21%
3	どちらとも言えない	31	10%
4	あまりそう思わない	4	1%
5	全くそう思わない	1	0%
合計		310	100%

コメント： 88%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、オンデマンド型講義であり、また、Excelの演習を中心とした講義のため、多くの学生が、ICTの利活用を進めていると感じたと考えられる。

10： 学生の質問に対する教員の回答は明快でしたか 【選択式： 5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	154	50%
2	ややそう思う	102	33%
3	どちらとも言えない	36	12%
4	あまりそう思わない	14	5%
5	全くそう思わない	4	1%
合計		310	100%

コメント： 83%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、Moodle上のフォーラム、電子メール、同時双方向型のサポート室、LINEチャットボット経由による質問など、多くの質問ための方法があり、多くの学生が、「学生の質問に対する教員の回答は明快」と感じたと考えられる。

11： この授業に関する通常授業期間の学修時間はどれくらいですか（授業時間を除く、1週間あたりの平均） 【選択式： 4者択1】

	回答	人数	割合
1	4.5時間以上	40	13%
2	3時間～4.5時間	84	27%
3	1.5時間～3時間	90	29%
4	1.5時間以下	96	31%
合計		310	100%

コメント：学修時間 1.5 時間以上の割合は、69%であった。大半の学生が1週間あたり 1.5 時間以上の学修を行っていることがわかった。また、3 時間以上学修したと回答した学生は 40%であった。一定程度の学修量の確保が行えていると考えていると考えている。これは、動画視聴の周知の徹底の効果であると考えている。

12：この授業はシラバスの内容に則した授業でありましたか。【選択式：5 者択 1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	154	50%
2	ややそう思う	111	36%
3	どちらとも言えない	36	12%
4	あまりそう思わない	5	2%
5	全くそう思わない	4	1%
合計		310	100%

コメント：85%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、シラバスに則して実施しており、多くの学生はシラバスに則っていると考えていることが分かった。このアンケート項目は 2023 年度から追加されたものである。なお、傾向は 2023 年度と変わっていない。

13：この授業の満足度を評価してください【選択式：5 者択 1】

	回答	人数	割合
1	90%以上	140	45%
2	80%	85	27%
3	70%	57	18%
4	60%	17	5%
5	50%以下	11	4%
合計		310	100%

コメント：70%以上満足したと回答は、全体の 91%であった。ほとんどの学生がこの講義に満足していることが分かった。

14 : 授業についてよかった点があれば記述してください。 【 記述式： 300 以内 】

この授業の良かった点として記述された回答は 19 件（特になし等を除く）あった。全ての回答をそのまま示す。

- エクセルの演習でグラフや表から考察する課題がとても楽しかったこと。
- エクセルを使った演習などは今後使う機会が多い物であり、非常に為になったと感じてる。
- パソコンでの色々な使い方を理解することができてよかったです。
- パソコンの操作の基礎を学べてよかったです。
- パソコンを少しずつ使い慣れてきているので良かったです。
- むずかしいと感じる操作ばかりであったが、実践を通して自分のスキルアップにつながると感じたので良かった。
- 演習についての説明が詳しくてわかりやすかった。
- 課題の説明がわかりやすく、すぐにコンピューターになれることができた。
- 課題の説明が明確だった点。
- 授業もわかりやすかったし、課題も先生が例をみせてくれるので、わかりやすかったです。
- 初心者にもやさしかったです。
- 情報の扱い方の基礎的な部分を理解できたこと。
- 説明が丁寧。
- 先生が丁寧に説明して下さったおかげで、とても理解しやすかったです。
- 知識を深めることができた。
- 動画の解説がわかりやすかった。わからない点を質問すると丁寧に回答してくれた。自分の知らない知識を取り入れることができた。
- 動画内で詳しく説明して下さった点や、質問にも詳しく回答して下さった点が良かったと思います。
- 難しい内容も例などを用いてわかりやすく説明してくれていたのも、理解しやすいと感じました。
- 日常にあふれるデータ・統計に関する見方や知識をつけることができて、大変実用的な点。

15 : 授業について改善してほしい点があれば記述してください。 【 記述式： 300 以内 】

この授業の改善してほしい点として記述された回答は 10 件（特になし等を除く）あった。全ての回答をそのまま示す。

- Word や Excel などの基本的なアプリケーション以外のモノを使う場合には、それに関する説

明（ダウンロード方法）などを教えてくださるとさらにわかりやすいと感じた。

- すこしデータが古い
- レポートの評価を返してほしいと思います。自分のレポートが求められている物に合致しているのかわからず不安に感じます。
- 課題が大変な時があった。
- 課題の難易度が高いと感じることが多かったので改善してほしい。
- 最後の授業が20時すぎに終わる可能性があるので、6限はやめてほしい
- 最終回の課題説明が曖昧かつ不十分であった。
- 授業で用いているスライドと最後の章テストの内容があまりに異なることがあったので、もう少し授業内容に沿うようにテストを作成してもらいたい。
- 授業の目的がわからず、「何のためにやっているのだろう」と考えています。提起してから授業を進めてほしいです。
- 理解が難しい部分があった。

## ○ まとめ

授業実施形態ならびに教材の提示方法について、受講者から概ね好意的な意見が得られた。また授業の難易度に関しては、授業時間以外の学修時間をみても適切な時間に収まっており、適度であると考えられる。授業全体の満足度をみても約9割の回答者が70%以上と答えており、おおむね満足が得られる結果となった。

データサイエンスへの誘いBは、1Qに開講されたデータサイエンスへの誘いAに続く内容で、課題の量、難易度、オンラインに関する指摘は少なくなっている。